

令和2年度第7回運営委員会議事録

■日時：令和2年9月28日（月）14：00～15：45

■手法：Web会議システム（Zoom）

■参加：鈴木勝行、宮崎弘子、木内勝司、渡邊勇、佐藤英人、浅井敬三、廣川千恵子
川島秀男、山本実穂（14：30～）

オブザーバー：山本悦男（14：30～）

■議長：鈴木勝行

■書記：廣川千恵子

■資料：議事次第、2020年度サイサン環境保全基金助成支出表

■議題

1. 標識放流調査について

・入間川笹井堰上流：10月15日より特別解禁で調査進める。

集合場所・圏央道下 集合時間・11:30

・9月予定の都幾川矢来堰の下流での天然遡上アユ調査はできなかった。10月前半には調査予定。
報告書作成すすめる

2. サイサン環境保全基金の助成金支払い状況・・・コロナで十分活動できなくて、助成金額は約40万円に減額（申請金額65万）

・標識アユ放流、高麗川、越辺川、都幾川各川での魚類調査費用

標識用稚アユ運搬協力費 5000円×2=10,000円（金澤） 承認

魚類調査指導料 10,000円×3=30,000円 承認

高麗川での駐車料金4,000円も 承認

魚類調査・3か所：高麗川、都幾川、越辺川で実施。各会場参加者13～16人・・・報告書作成

・浅間堰・・・名細第一土地改良区に設置の許可をとる 浅井さんが現地調査して設計する。

魚道管理資材購入費・・・遡上環境整備として、セメントでプールを作る。

3. 2020年度の一斉水質調査のまとめ

参加者：20団体、1個人・・・9月末データ締め切り

調査位置確定を佐藤さん。その後データまとめ。

マップは「入間プロジェクト活動助成金」で作成 10月中旬

4. その他

・荒川流域エコネット地域づくり推進協議会委員に川島秀男氏就任

第1回会議9月23日鴻巣市 コウノトリの人工飼育建設中。来年夏から飼育予定

・荒川流域再生シンポジウム開催について

嵐山ヌエック予約 3月14日（日） 110研修室

リモートシンポジウムもありか、検討する。

次回 令和2年10月26日（月）14：00～ 鶴ヶ島市市民活動推進センター

その他の話題

・矢来堰への魚道設置が終わったら、県の遡上環境改善事業は一応終了する。今後は残された高麗川での事業を埼玉西武漁協と連携を取りながら県に要望していく必要がある。

・鶴ヶ島の活動：鶴ヶ島市HP掲載用の荒川流域ネットワークの活動報告が良くできている。当会のHPにもアップしたらいい。

・学生の卒論のため、資料提供した。完成した卒論を送ってもらったらいいのではないか。

・金澤さんが川魚のマイクロプラスチックの調査のために、科学センターに届けたものの結果を知りたい。河川のマイクロプラスチックはゴルフ場の人工芝と言われているが、どうなのか。

農作業用プラスチック、土嚢袋、ブルーシート等、プラスチックはゴミとして、河川にそして海に。